

定住自立圏構想

中心市宣言書



平成27年12月18日

鹿児島県指宿市

指宿市定住自立圏中心市宣言

平成18年1月1日の広域市町村合併により、旧指宿市、旧山川町及び旧開聞町の1市2町が合併し誕生した新「指宿市」は、鹿児島県の薩摩半島最南端に位置し、東部は鹿児島湾（錦江湾）に、南部は東シナ海に面しており、西部は南九州市に、北部には県都である鹿児島市に接しています。

合併前の旧1市2町は、昭和46年に広域市町村圏の設定（旧穎娃町を含める）がなされて以降、旧市町一体となって振興計画を策定し、圏域の総合的な振興を図ってきたところであり、日常生活圏や経済圏を同じくする地域として、ごみ処理や消防などの広域的な行政運営に取り組んできました。

現在、我が国においては、今後の急速な総人口の減少が見込まれる中で、地方圏のみならず三大都市圏においても人口が減少するという「過密なき過疎」の時代が到来したと言われていています。特に地方圏は、少子高齢化の進行による地域活力の低下や若者の人口流出等に歯止めがかからず、その将来は、極めて厳しいものと予想されています。

本市においても、そのような動きが進行してきており、本市の基幹産業である農林水産業や観光産業の担い手の確保や関連する地場産業の活性化、地域医療や地域交通の維持確保等が重要な課題となっています。本圏域は、合併前から経済や文化をはじめ通勤・通学や住民の日常生活において、強い結びつきを持っていましたが、今後社会経済情勢が一層厳しくなることが見込まれる中、各地域がそれぞれの個性や特性を生かし、役割分担しながら一層連携を強化し、圏域全体の活性化に取り組む必要があります。

このため、ここに合併前の旧指宿市を中心地域とし、旧2町を連携地域とした「指宿市定住自立圏」の構築を掲げ、集約とネットワークの考え方の下に人口定住のために必要な生活機能を確保し、地域の結びつきや魅力を高めて、市民が住むことに喜びを感じるとともに誇りを持てるまちづくりに取り組むことを宣言します。

平成27年12月18日

指宿市長 豊留 悦男

定住自立圏形成の背景と取り組み

中心地域となる旧指宿市における都市機能の集積状況，旧2町の住民による都市機能の利用状況，及び今後展開しようとする取り組みは，以下のとおりである。

■ 1. 旧指宿市における都市機能の集積状況

分野	都市機能	施設名
医療	地域医療支援病院	独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター
	鹿児島県がん診療 指定病院	独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター
	救急告示医療機関	指宿脳神経外科 独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター 今林整形外科病院
教育	高等学校	鹿児島県立指宿高等学校 指宿市立指宿商業高等学校
情報・文化・ スポーツ	文化施設，図書館	指宿市民会館 指宿市考古博物館時遊館COCCOはしむれ， 指宿図書館
	体育施設	指宿総合体育館，指宿市営陸上競技場 指宿市営野球場，指宿市営テニス場 サンシティホールいぶすき
交通	幹線道路	国道226号，国道269号
	主要駅	JR指宿駅
商業	大規模小売店舗	プラッセだいわ指宿店 タイヨー指宿店 サンキュー北指宿店 スーパーセンターニシムタ指宿店 生活協同組合コープかごしま指宿店 ダイソー指宿東方店 ホームプラザナフコ指宿店 ディスカウントドラッグコスモス指宿西方店 ディスカウントドラッグコスモス指宿湯の浜店 ディスカウントドラッグコスモス北指宿店 ドラッグストアモリ指宿店 テックランド指宿店 ケーズデンキ指宿パワフル館 エディオン鹿児島指宿店

■ 2. 旧1市2町の住民による都市機能の利用状況

① 地域別医療機関の利用状況 (単位：人，%)

旧自治体名	外来		入院	
	患者数	割合	患者数	割合
旧指宿市	77,744	59.1	3,454	57.0
旧山川町	33,446	25.4	1,498	24.7
旧開聞町	19,886	15.1	1,013	16.7
その他	516	0.4	97	1.6
合計	131,592	100.0	6,062	100.0

注1) 平成26年度 鹿児島県国民健康保険団体連合会データに基づく資料。

注2) 外来については、受診回数に基づく延べ人数として集計。

注3) 入院については、複数月にわたって入院している者は延べ人数として集計。

② 旧指宿市への通勤通学割合 (単位：人，%)

旧自治体名	常住する就業者・通学者数 (自宅での就業者を除く)		割合
		うち旧指宿市への 従業・通学者数	
旧指宿市	12,168	9,219	75.8
旧山川町	3,919	965	24.6
旧開聞町	2,439	511	21.0
合計	18,526	10,695	57.7

注) 平成17年国勢調査

③ 駅別乗車人員 (単位：人)

旧自治体名	駅名	乗車人員	1日平均乗車人員	備考
旧指宿市	薩摩今和泉	184,703	506	指宿枕崎線
	宮ヶ浜	46,763	128	
	二月田	117,700	323	
	指宿	286,498	785	
旧山川町	山川	75,184	206	
	大山	14,411	40	
	西大山	19,419	53	
旧開聞町	薩摩川尻	7,069	19	
	東開聞	6,507	18	
	開聞	7,462	20	
	入野	3,690	10	

注) 平成26年度分 (統計いぶすき)

④市内循環バス利用状況

(単位：人)

旧自治体名	路線・地域名	乗車人員	1便平均乗車人員	備考
旧指宿市	小牧・岩本・宮ヶ浜線	6,296	10.1	
	池田・東方線	5,089	8.1	
旧山川町	山川地域	3,777	6.1	
旧開聞町	開聞地域	9,540	15.2	

注) 平成26年度分(商工水産課)

⑤産業(大分類)別民営事業所数

(単位：%)

旧自治体名	総数 (公務を除く 全産業)	農林漁業	鉱業,採石業, 砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・ 水道業
旧指宿市	1,507	40	0	134	71	1
旧山川町	526	30	1	50	82	1
旧開聞町	212	6	0	27	19	0

情報通信業	運輸業, 郵便業	卸売業, 小売業	金融業, 保険業	不動産業, 物品賃貸業	学術研究, 専門・技術 サービス業
8	33	445	28	44	47
0	12	151	8	2	11
0	2	69	3	1	6

宿泊業, 飲食 サービス業	生活関連 サービス業, 娯楽業	教育,学習 支援業	医療,福祉	複合 サービス 業	サービス業 (他に分類 されないもの)
229	151	56	115	15	90
38	53	14	30	6	37
17	15	7	17	6	17

注) 平成24年経済センサスー活動調査

■ 3. 連携地域（旧2町）と連携することを想定する取り組み

連携地域と連携する項目については、主に次のような分野を想定しています。

（1）生活機能強化のための取り組み

① 医療

- ・医療従事者の確保や地域医療の充実 など

（2）結びつきやネットワーク強化のための取り組み

① 地域公共交通

- ・地域の特性や住民ニーズに合った交通体系の維持確保 など

（3）圏域マネジメント能力強化のための取り組み

① 人材の育成

- ・研修等による市職員の資質の向上
- ・産業や福祉，市民活動などの各分野で地域を牽引する人材の育成 など

② 外部からの行政及び民間人材の確保

- ・地域の課題解決に向けた，専門性を有する外部人材とのネットワークの構築
- ・必要な分野における外部人材の登用 など